A blue and black logo

Description automatically generated with low confidence

ヘイカルド、私のパートナーに私と結婚しようとお願いして…

カルドの最新の顧客調査では、250人以上のユーザーがこう答えています。「ほんの20年前、ライダー同士のコミュニケーションは、信号待ちでのハンドサインと声掛けだけだったので、カルドのような存在はありえませんでした。

カルドは、世界初のバイク用Bluetooth搭載インカムを発売して以来、初のワイヤレス通信式インターコム、初のJBL製プレミアムサウンドシステム、初の音声操作通信システムなど、業界のイノベーションのほとんどを担っています。

114カ国、18,000人\*以上の回答者のデータを精査したところ、世界の#CardoFamには多くの共通点があることがわかりました。

約60％の人がフルフェイスヘルメットを着用し、次にジェットヘルメットが人気でした。

約44％以上のライダーがアドベンチャーモデルやツーリングモデルを持っており、3～15人でのライディングが大半を占めています。

また、バイクを乗る理由について、多くのライダーは「レジャー」、走行距離が長いライダー達の回答は「情熱」「自由」という回答が上位を占めました。

さらに、半数以上の人が、バイクに乗ることは精神状態を良くすると回答しています。

休日にバイクに乗る際、45％のライダーが476マイル/766km以上の距離を走っていることも分かりました。カルド、お菓子、ドリンク以外を持たずに出かけても不思議ではありません！

インカムを使う半数以上の人が3年以上使っており、70%以上の人が、初めて使う端末としてカルドを選んでいました。

また、半数近くが音楽を聴くためにカルドを使用しています。

バイクに乗りながら歌うか、という質問には、17%が「鼻歌のみ」、44%が「時々歌う」、17%が「歌っている」と回答しています。

気候が異なる世界各国から寄せられた回答によると、カルドの機能で最も愛されている3つは： 「JBLサウンド」「防水性」「DMC通信」です。

通話の相手については、「家族」「配偶者」が半数以上を占め、「友人」が30％弱を占めています。

また、#CardoFamが最も好きなバイクの有名人として、9回のグランプリ・バイクレース世界チャンピオンの経験があるバレンティーノ・ロッシを挙げ、次に6回のMotoGP世界チャンピオンであるマルク・マルケス、その次に「キング・オブ・クール」のスティーブ・マックイーンと続いています。

#CardoFamや[www.cardosystems.com](http://www.cardosystems.com)など、カルド社のソーシャルメディアチャンネルを検索いただくと、自分に合ったカルドのデバイスを探すことができます。

※18780人の回答者

カルド社について

カルド社は、行動力のある冒険家たちのために最先端の通信機器をお届けしています。ライダー、アウトドア愛好家、冒険家たちを、携帯電話、音楽、そして互いの絆につなげています。カルド社は2004年に世界初の二輪用Bluetooth搭載インカムを発売して以来、業界の革新のほとんどを担ってきました。これには、初のワイヤレス通信式インターコム、JBLによる初の高音質システム、初の音声操作デバイスの導入など、数え上げればきりがありません。カルドの製品は100カ国以上で販売されており、冒険家のためのコミュニケーションデバイスとして世界をリードしています。